



『From7 第62回 歯科衛生士 Meeting』

日時：平成27年12月2日(水) 19:15-21:00 場所：白鳥歯科インプラントセンター2F 研修室

演題

1. 【プロフェッショナルコミュニケーション】 ～正しいことを正しく伝えても人は理解しない～

講師：土屋和子

【略歴】

1977年 歯科衛生士免許取得：神戸国際デンタル・カミムラ歯科医院勤務
1981年 Dr. Raymond L Kim's office 研修
1982年～フリーランス体制で仕事を始める
2007年 株式会社スマイル・ケア設立 代表取締役
2014年 日本歯科医療人育成協会設立 理事
現在 都内3件（ウエマツ歯科医院、土屋歯科クリニック&work's、Team Tokyo NOBU dental）に勤務
デンタルNLP®、ペリオマネージメント®主宰
デンタルヘルスマネージャー・インストラクター育成講座主宰

【近年代表的著書】

プロフェッショナルハイジニストワーク 2008年 医歯薬出版
歯科衛生士ベーシックスタンダード：ホワイトニング 2011年 医歯薬出版
プロフェッショナルコミュニケーション 2013年 医歯薬出版
歯科衛生士ベーシックスタンダード：審美歯科 2013年 医歯薬出版
長期メンテナンス症例から考える！経過観察の意味 2013年 医歯薬出版
歯周病を治すSRP 2014年 医歯薬出版
プロフェッショナルワークバランス 2015年 医歯薬出版

【抄録】

歯周病が全身疾患の一因である可能性の研究が始められたのは、1980年代の後半です。現在では様々な研究結果とエビデンスから、多くの全身疾患との関連が認められるようになりました。そして、「歯周病の発症予防や進行抑制」が「全身疾患の予防や治療」を可能にするのです。このことは、現在歯周病を発症している人における生涯コントロールとしてSPTを継続させるとともに、発症していない人へも歯周病を予防することの必要性を伝えていくことではないでしょうか？

そして、その必要性を伝えようとしたときの難しさを体験されている方もいらっしゃるでしょう。

「一生懸命にいろいろなわかりやすい表現をしたつもりなのに・・・なぜわかってもらえないのだろう」

「この人は、結局何を言いたいのだろう？言っていることがさっぱりわからない・・・」

「そんなつもりで言っていないのに、なぜ誤解をされてしまったのだろう？」

・・・そんな経験はありませんか？

『非言語』と『言語』について学ぶ前の私は、相手に思うように伝わらないもどかしさを感じましたし、ずいぶんイライラし悔しい想いもしました。

そして、今から8年程前に、「普段何気なく使っている言葉は、実はそのひとの“人生が凝縮”されたものである」と知った時は驚きました。心理学や言語学、行動学などを併せ持った学問であるNLP（神経言語プログラミング）から発達した『LAB プロファイル®』は、質問による回答の言語と行動からその人の思考パターンを分析し、その人を理解してその人に響く言語を用いることによって行動変容に導きます。

たとえば、なかなか成果を上げられなかった喫煙者を禁煙に導くことができるようになるのです。

今回は、このような非言語と言語の使い方による『プロフェッショナルコミュニケーション』をみなさまにお伝え致します。